

663rd ASRC Seminar

Date: Wednesday, February 15, 13:30 ~

Location: Room 302, ASRC bldg.

Speaker: Dr. Hidemitsu Asano
(Osaka University)

Title: RHIC-PHENIX実験における重いクォークを用いた
クォーク・グルーオン・プラズマの物性研究

Abstract: RHIC-PHENIX実験では、重イオン衝突によってクォーク・グルーオン・プラズマ(QGP)を生成し、その物性を調べている。重いクォーク(チャームクォーク、ボトムクォーク)は質量が大きいため、衝突直後の運動量移行の大きい反応でしか生成されない。また、重いクォークはQGP中で数が変化しないため、QGPの初期状態から終状態に至る情報を持ち得る。そのため、重いクォークはQGP物性の理解のためのよいプローブとなる。本セミナーでは、RHIC-PHENIX実験に導入されたシリコン崩壊点飛跡検出器(VTX)から得られた、重いクォーク測定の最新結果を中心に紹介する。

なお、今回のセミナーは、第58回「原子核ハドロン物理セミナー」を兼ねております。セミナー内容は
http://silver.j-parc.jp/hadron/hadron_seminar/index.html
でご覧になれます。

<Contact>

谷田 聖 (81-5361)

Advanced Science Research Center